

かづまる通信

教職員の心掛け「わをん」

- ㊦ 笑ったり 泣いたり
- ㊧ 怒ったり 喜んだり
- ㊨ 子供たち全員が思いっきり個性を發揮できる学校づくりに取り組んでいきます!

【子供たちの自立を支えるために】

寒さも日に日に穏やかなものとなり、いよいよ3月、1年間のまとめの月がやってきました。今年度のゴールへ向けて、最高学年にとっては新たな環境への旅立ちへ向けて、かけがえのない時間になります。子供たちのさらなる自立へ向け、教職員も精一杯努力をしていきます。

【3月のSC来校日】

2日(火) 9日(火) 16日(火) 23日(火)



親子の小窓



第11回テーマは「不登校の支援」です。子供への効果的な関わり方とは、どのようなものでしょうか。

お子さんにとって、最も安心できる場所は家庭です。家族とともに安心して過ごしたいという気持ちは、子供なら(あるいは大人でも)誰もがもつ感情です。その家族に認められ、愛され、受け入れられ、後押ししてもらえたら、子供は勇気をもって社会への自立を果たせると思います。難しいことを短期間に一生懸命するのではなく、親子の当たり前のコミュニケーションを日常的に行うことこそが、子供たちの自立につながる最大の支援になり得ることでしょう。子供にとって困ったことや、苦しいことが起きた時、家庭が安全地帯になることが大切です。それでも、学校に行きたくないということもあることでしょう。どんな子供にも起こり得ることだからこそ、学校と手を取り合い、協力してお子さんに関わっていきましょう。今後もこれまで同様、お子さんの心に寄り添った親子の関わりをよろしく願います。



確認! 「聴く」「話す」関わりのポイント

【良い聴き方のポイント】

- 1 相手の話を最後まで聴く
→大人の考えや意見は不要です。
- 2 本当に伝えたいことをつかまえる
→そのために「質問」します。
- 3 気持ちをそのまま受け止める
→否定せず、ありのままを。
- 4 判断・評価より「共感」
→相づち、うなずきは効果的です。

【子供の心を折る話し言葉】

- ・でも……………「でも、そんなの間違ってるよ」
- ・だけど……………「だけど〇〇ちゃんの場合は…」
- ・だから……………「だから言ったでしょう」
- ・いったい……………「いったい何時だと思ってるの」
- ・そんなこと…「そんなことも分からないの」
- ・いつも……………「いつもそうやって…」
- ・どうせ……………「どうせできないよ」

「かづまる通信」のバックナンバーを読み返したいときは、担当の千葉までご連絡ください。